



平成 19 年 2 月 14 日

各 位

会社名 レ シ ッ プ 株 式 会 社
代表者名 代表取締役社長 杉 本 眞
(コード番号：7 2 1 3)
問合せ先 取締役管理本部長 山 口 芳 典
(電話番号：058-323-7647)

業績予想（平成 19 年 3 月期）の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 18 年 11 月 15 日の中間決算発表時に公表いたしました平成 19 年 3 月期（平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日）の通期業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成 19 年 3 月期 個別業績予想数値の修正（平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	14,000	975	1,050	630
今回修正予想 (B)	15,000	940	1,000	630
増減額 (B-A)	1,000	△35	△50	±0
増減率 (B対A)	7.1%	△3.6%	△4.8%	0.0%
前期（平成 18 年 3 月期）実績 (C)	14,174	936	1,003	650
増減率 (B対C)	5.8%	0.4%	△0.3%	△3.1%

2. 平成 19 年 3 月期 連結業績予想数値の修正（平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	16,300	1,210	1,200	720
今回修正予想 (B)	17,300	1,020	1,000	580
増減額 (B-A)	1,000	△190	△200	△140
増減率 (B対A)	6.1%	△15.7%	△16.7%	△19.4%
前期（平成 18 年 3 月期）実績 (C)	17,233	1,089	1,086	622
増減率 (B対C)	0.4%	△6.3%	△7.9%	△6.8%

3. 業績予想の修正理由

(1) 個別

取付関連の調整により遅れておりました首都圏 IC カード相互利用サービスに係わるバス用 IC カードシステムの納入が本格化してきていること、列車用蛍光灯具などその他の製品も順調に推移していること、並びに電子マネーと携帯クレジット用共用読取端末の納入が計画以上に進む見込みであることなどにより売上高は増加する見通しであります。

一方、銅価格を中心とする原材料の高騰は落ち着きを取り戻す傾向にあるとはいえ、中間連結会計期間以降も引き続き厳しい状況が続き利益を圧迫する要因となっております。

併せて相対的に原価率の高い商品の売上げが増加したこと、及び広告宣伝費等の販売管理費が増加すると見込まれることなどにより、営業利益及び経常利益はいずれも前回発表予想を下回る見通しであります。なお、当期純利益は当初予定していなかった投資有価証券売却益の計上により、前回発表数値から変更を行っておりません。

(2) 連結

個別業績予想での修正要因に加え、連結子会社での採算の悪化、並びに海外子会社における特別損失の発生により、連結売上高は増加する見込みではありますが、同営業利益・経常利益・当期純利益はいずれも前回発表予想を下回る見通しであります。

※業績予想につきましては、発表日現在の情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な不確定要因によって予想数値と異なる場合がありますので、予めご承知願います。

以 上